

施策評価シート

施策コード	0302	平成27年度 第9次鳥取市総合計画		
施策名	都市間の連携の推進	所属名	企画推進部	政策企画課

1. 基本情報

位置 づけ の 計 画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	01	計画推進における基本方針
	政策	03	都市間連携の強化

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>【現状】 少子高齢化による社会保障費の増大、生産年齢人口の減少に伴う税収入等の減少など、本市を取り巻く社会情勢は、今後も厳しさを増すことが予想されます。</p> <p>【課題】 行政事務全般が効率化目指す中、本市及びその周辺圏域の魅力の創出や発信についても、圏域全体で連携しながら、更なる魅力ある圏域づくりを進めていくことが求められています。</p>
めざす方向	整備された情報網、高速道路網を活用して、地理的、歴史的ゆかりのある各都市と効果的に連携を行うことで、地域の発展につながる取組みを展開します。
達成するための対策・手段	①他圏域とのネットワークのさらなる強化 ②都市連携による新たな魅力の創出 ③姉妹都市との交流の推進

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果 指 標	1	交流人口(観光入込客数)	万人	目標	280	310	320	330	340
				実績	268	317	294	289	301
				目標達成率	96%	102%	92%	88%	89%
		(指標の説明) 年間観光入込客数							
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
			目標達成率						
		(指標の説明)							
	3		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
目標達成率									
(指標の説明)									

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	2,033	2,058	5,316	1,347	2,457

5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	定期的な、他圏域との自治体間ネットワークや姉妹都市等の友好都市とのイベントや会議を活用し、積極的に市内外への情報発信、PR、交流、情報の共有を行ってきており、本市の交流人口の増加、観光資源の広域的活用などの充実の一助となっている。
---------------------------------------	---

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	県境を越えた自治体間ネットワークや姉妹都市との様々な分野での交流、連携の推進により、現在、交流人口の増加や新たな観光資源の開発等を進めている。今後については、鳥取県東部及び兵庫県北但西部の自治体との、更なる連携、他圏域とのネットワークとの更なる強化、国内姉妹都市との交流を推進し、より一層の圏域への人の流れの創出を図ることとする。

事務事業評価シート

事務事業コード	000355	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	圏域ネットワーク強化事業(コリドー21推進事業)		所属名	企画推進部	政策企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	01	計画推進における基本方針		事業期間	平成8年度～全期
	政策	03	都市間連携の強化		根拠法令、根拠計画等	因但県境自治体会議会則
施策	0302	都市間の連携の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	交流人口(観光入込客数)		268万人	340万人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	コリドー21(因但県境自治体会議)負担金			予算事業コード	01-02-01-07-01-13

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	因幡と但馬の県境に接する地域
意図 (どのような状態にするために)	他圏域との交流・連携により、当該目的をもつ圏域での一体的な発展を図る。
手段 (どうするのか)	・交流・連携事業の実施 ・地理的、歴史的つながりのある各圏域内外へ効果的に情報発信を行うことにより、地域の発展につながる取組を展開していく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・交流・連携事業の実施 ・各圏域内外へ情報発信	平成24年度 ・交流・連携事業の実施 ・各圏域内外へ情報発信	平成25年度 ・交流・連携事業の実施 ・各圏域内外へ情報発信	平成26年度 ・交流・連携事業の実施 ・各圏域内外へ情報発信	平成27年度 ・交流・連携事業の実施 ・各圏域内外へ情報発信	
	年度別実績	・協議会開催3回 ・婚活事業(連携事業)の開催 ・各地イベントでの相互PR活動	・協議会開催3回 ・婚活事業(連携事業)の開催 ・各地イベントでの相互PR活動	・協議会開催3回 ・サミットの開催(広域高速交通網を活かしたまちづくりについて) ・婚活事業(連携事業)の開催 ・各地イベントでの相互PR活動	・協議会開催3回 ・サミットの開催(少子高齢化について) ・婚活事業(連携事業)の開催 ・各地イベントでの相互PR活動	・協議会開催3回 ・サミットの開催(少子高齢化について) ・婚活事業(連携事業)の開催 ・各地イベントでの相互PR活動	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	770	763	749	772	756	
	直接経費 A	20	20	20	20	20	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	20	20	20	20	20		
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		圏域連携事業の実施事業数	事業	目標	1	1	1	2	2
	(指標の説明) 加盟各市町の首長、議長によるサミットの開催、圏域での婚活事業の実施				実績	1	1	2	2
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153</p> <p>【9次総の施策体系】0302</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 因幡と但馬の県境地域に接するそれぞれの市町が、行政、文化、経済等の連絡調整を行い、各市町の発展と県境地域の振興を図ることを目的として設置された「コリドー21サミット」の運営費負担金。 関係市町の交流、連携、共通課題について協議し、情報発信等を連携して行うことにより、圏域としての一体感の醸成、併せて相乗的なスケールメリットを生かした事業実施が可能となる。 (構成市町) 鳥取県側は鳥取市、岩美町、若桜町、八頭町、兵庫県側は、香美町、新温泉町で構成</p> <p>【事業の成果】 (首長、議長参加)、連携事業、情報発信事業を実施 ・25～27年度 協議会開催(3回/年)、サミットの開催(1回/年)(少子高齢化について)、婚活事業(連携事業)の開催、各地イベントでの相互PR活動を実施</p> <p>【今後の課題・方向性】 交流人口、定住人口増の対策はいずれの自治体も喫緊の課題であり、この対策成果向上には複数の自治体の連携の取組が必須と考える。その上で、より一層の効果を求めるため、マンネリ的な事業実施を排し、課題現状に合った連携事業の調整が必要と考える。 なお、コリドー構成市町については、移行を目指している「連携中枢都市圏」の構成町も含まれており、連携事業の重なるもの考えられる。移行時の統合等調整も視野に入れ、効率性を高める事業実施を検討する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	圏域連携事業の実施事業数	100%	100%	100%	100%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	コリドー構成市町について、連携中枢都市圏の対象連携町と重なる。移行を目指しての業務の一環として本業務の妥当性があると考えられる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	コリドー構成市町について、連携中枢都市圏の対象連携町と重なる。移行を目指しての業務の一環として本業務の妥当性があると考えられる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	コリドー構成市町について、連携中枢都市圏の対象連携町と重なる。連携中枢移行により、圏域連携での効果的な取組が可能と考えられる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	コリドー構成市町については、「連携中枢都市圏」の構成町も含まれており、連携事業の重なるものも考えられる。移行時の統合等調整も視野に入れ、効率性を高める事業実施を検討する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000357	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	圏域ネットワーク強化事業(鳥取・岡山県境連携推進事業)		所属名	企画推進部	政策企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	01	計画推進における基本方針		事業期間	昭和44年度 ~ 全期
	政策	03	都市間連携の強化		根拠法令、根拠計画等	鳥取・岡山県境連携推進協議会規約
施策	0302	都市間の連携の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	交流人口(観光入込客数)		268万人	340万人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	鳥取・岡山県境連携推進協議会負担金			予算事業コード	01-02-01-07-02-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取県と岡山県の県境に接する地域
意図 (どのような状態にするために)	他圏域との交流・連携により、当該目的をもつ圏域での一体的な発展を図る。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 交流・連携事業の実施。 地理的、歴史的つながりのある各圏域内外へ効果的に情報発信を行うことにより地域の発展につながる取組を展開していく。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・交流・連携事業の実施。 ・各圏域内外へ情報発信。	平成24年度 ・交流・連携事業の実施。 ・各圏域内外へ情報発信。	平成25年度 ・交流・連携事業の実施。 ・各圏域内外へ情報発信。	平成26年度 ・交流・連携事業の実施。 ・各圏域内外へ情報発信。	平成27年度 ・交流・連携事業の実施。 ・各圏域内外へ情報発信。
	年度別実績	・協議会への出席 ・研修会の開催 ・両県への要望活動	・協議会への出席 ・研修会の開催 ・両県への要望活動	・協議会への出席 ・研修会の開催 (人が行ってみたいくなる仕掛け・地域のブランド戦略の研修) ・両県への要望活動 (鳥取道早期4車線化、若者定住等の推進等)	・協議会への出席 ・研修会の開催 (市町村消滅論と中山間地域の再生) ・両県への要望活動	・協議会への出席 ・研修会の開催 (中山間地域活性化セミナー「鳥取・岡山の田舎は宝の山」) ・両県への要望活動
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)
	事業費(A+B)	394	398	381	391	383
	直接経費 A	19	27	17	15	15
	国・県	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
一般財源	19	27	17	15	15	
人件費 B	375	371	364	376	368	
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		会議、研究会等への参加回数	回	目標	6	6	6	6	6
			実績	3	4	2	7	6	
		(指標の説明) 鳥取県、岡山県知事に対する要望活動、圏域での自治体職員合同研修会の実施							
	2		目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明)								

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153</p> <p>【9次総の施策体系】0302</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 「鳥取・岡山県境開発促進協議会」は、各市町村が連携し、関係機関等に対する要請、関係団体との連絡及び必要な調査研究を行いながら、地元産業の振興と地域開発を促進することを目的として鳥取・岡山両県の県境に接する16市町村で構成、設置された協議会。 本事業は、この協議会の運営を行うため運営費負担金を拠出する事業。 (構成市町村) 鳥取市、三朝町、倉吉市、江府町、日野町、日南町、新見市、西粟倉村、美作市、奈義町、津山市、鏡野町、真庭市、新庄村、智頭町、若桜町</p> <p>【事業の成果】 ○会議等の開催 ・総会《幹事市町村にて》(1回/年) ・構成市町村担当課長・担当者会議《幹事市町村にて》(1回/年) ○研究・勉強会の開催 《構成市町村》(1回/年) ○ブロック会議 《想定：東部ブロック：(1回/年)、中部ブロック：(1回/年)》 ○要望活動 《岡山県》及び《鳥取県》(会長、副会長による提出)</p> <p>【今後の課題・方向性】 今後の地方行政を考える上で、県境を越えた広域連携を行うことは非常に重要である。より一層の効果向上、効率性を検討しながら、引き続き事業を推進していく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	会議、研究会等への参加回数	50%	67%	33%	117%	100%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	自治体間連携業務であり、同一課題の共有と解決方法の検討のため、今後活発に行っていく必要があると考える。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	自治体間連携業務であり、同一課題の共有と解決方法の検討のため、今後活発に行っていく必要があると考える。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	費用負担・事務負担の割に、得られる情報(実施政策の成功・失敗例等)や、自治体間連帯感の造成と効果があるものとする。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	自治体間の協議会で、対象、負担部分はいずれも適正に設定されていると考える。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>自治体間の連携による事業遂行例については、今後の市政効率運営上の参考になることが予想される。 また、事業投資費用に比して効果は見られており、現状維持での対応が望ましいと考える。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	000363	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	都市連携魅力創出事業(HOTトライアングル推進事業)		所属名	企画推進部	政策企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	01	計画推進における基本方針		事業期間	平成19年度～全期
	政策	03	都市間連携の強化		根拠法令、根拠計画等	姫路市、岡山市及び鳥取市の連携・交流に関する協定書
	施策	0302	都市間の連携の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	交流人口(観光入込客数)		268万人	340万人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名			予算事業コード		

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	姫路市、岡山市、鳥取市の三都市
意図 (どのような状態にするために)	交流・連携により、三都市の地域の発展を図る。
手段 (どうするのか)	<ul style="list-style-type: none"> 交流・連携事業を実施する。 情報発信を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・交流・連携事業の実施。 ・各圏域内外へ情報発信。	・交流・連携事業の実施。 ・各圏域内外へ情報発信。	・交流・連携事業の実施。 ・各圏域内外へ情報発信。	・交流・連携事業の実施。 ・各圏域内外へ情報発信。	・交流・連携事業の実施。 ・各圏域内外へ情報発信。	
	年度別実績	・各種イベントに参加し、PR活動を実施 ・市長鼎談の開催	・各種イベントに参加し、PR活動を実施	・各種イベントに参加し、PR活動を実施 ・市長鼎談の開催	・各種イベントに参加し、PR活動を実施	・各種イベントに参加し、PR活動を実施	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	750	743	729	752	736	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	
人件費 B	750	743	729	752	736		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	交流・連携事業の実施回数	回	目標	0	0	1	1	1
				実績	9	11	8	7	7
	(指標の説明) 交流・連携事業の実施回数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画調整係 0857-20-3153</p> <p>【9次総の施策体系】0302</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>「姫路市、岡山市及び鳥取市の連携・交流に関する協定書」の調印に基づき設置された、「姫路・岡山・鳥取城下町物語推進協議会」は、平成19年2月の設立以来、第1次（平成19～21年度）、第2次（平成22～24年度）、第3次（平成25～27年度）と3年間の事業計画を策定し交流事業の定着、推進に向けた活動を実施している。</p> <p>具体的には、市民交流（歴史、文化、スポーツなど）や経済交流の側面的な支援や、イベントの相互参加、広域観光ルートの確立に向けた取組、交通アクセスの向上を図るための要望活動等の地域間連携の取組を実施しており、現在も、それぞれの自治体の地域活性化に活用している。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>(27年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント相互参加（姫路お城祭り、おかやま桃太郎祭り、しゃんしゃん祭り等） ・マラソン連携（鳥取マラソン等） ・協議会・幹事会、部会を開催 <p>(26年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント相互参加（姫路お城祭り、おかやま桃太郎祭り、しゃんしゃん祭り） ・市長鼎談（仁風閣（鳥取市）で開催） ・協議会・幹事会、部会を開催 <p>(25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント相互参加（姫路お城祭り、おかやま桃太郎祭り、しゃんしゃん祭り） ・協議会・幹事会、部会を開催 <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>第2次の事業計画（平成25～27年度）期間の実績・成果を検証して、平成28年度以降の第4次事業計画（平成28～30年度）の策定の取組をおこなっていく。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	交流・連携事業の実施回数			800%	700%	700%
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	自治体間連携事業であり、市の関与すべき範囲の事務と考える。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	9年間の取組実績の蓄積により、有効に成果を得ていると考える。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	費用負担・事務負担の割に、情報発信や、自治体間連帯感の造成と効果があるものとする。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	対象は適切であり、費用実績等からも負担額は適切と考える。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	現協定書の趣旨を踏まえ、現状の交流連携の体制を維持しつつ、その後の展開、展望を再度検討していく時期と考える。	

事務事業評価シート

事務事業コード	000360	重点事業区分	—	平成27年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	国内都市交流総合推進事業		所属名	企画推進部	文化交流課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	01	計画推進における基本方針		事業期間	全期
	政策	03	都市間連携の強化		根拠法令、根拠計画等	
施策	0302	都市間の連携の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	交流人口(観光入込客数)		268万人	340万人	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	国内都市交流総合推進費			予算事業コード	01-02-01-07-23-28

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市の姉妹都市提携都市をはじめとする国内他都市との交流
意図 (どのような状態にするために)	経済・文化・観光などの分野において、幅広い国内交流を展開する。
手段 (どうするのか)	国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流を促進し、本市のPR活動を展開する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流事業を実施	平成24年度 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流事業を実施	平成25年度 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流事業を実施	平成26年度 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流事業を実施	平成27年度 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流事業を実施	
	年度別実績	国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流事業を実施	国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流事業を実施	・東京、東海、関西、中国地方の8つの県人会総会等に参加し、本市の情報発信(観光、ふるさと納税、移住ほか)を行った。 ・銚路市との姉妹都市提携50周年を記念し、両市民交流事業を実施。	国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流事業を実施	・国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流事業を実施 ・姉妹都市提携(岩国市20周年、郡山市10周年)を記念して記念事業を実施。	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,692	3,592	6,725	2,681	3,610	
	直接経費 A	1,443	1,364	4,539	424	1,403	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	1,443	1,364	4,539	424	1,403	
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	2,207		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	国内交流事業参加者数	単位	人	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
					実績	0	0	900	900	900		
	(指標の説明) 国内他都市(県人会)での交流事業参加者数											
	2	国内交流促進事業活用団体数	単位	団体	目標	0	0	2	2	2		
					実績	0	0	2	5	2		
	(指標の説明) 国内交流促進事業補助金を活用して民間交流を実施した団体数											
3		目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)												

5. 平成27年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 都市交流係 0857-20-3154</p> <p>【9次総の施策体系】 0302</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P37（企011）</p> <p>【事業の概要】 国内姉妹都市をはじめ、関西圏や近隣都市、各鳥取県人会との交流を推進し、本市のPR活動を展開する。</p> <p>【事業の成果】 平成25年度 釧路市姉妹都市提携50周年事業、県人会総会参加 平成26年度 県人会総会参加 平成27年度 岩国市姉妹都市提携20周年事業、郡山市姉妹都市提携10周年事業、県人会総会参加</p> <p>【今後の課題・方向性】 国内姉妹都市をはじめとして、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	国内交流事業参加者数			111%	100%	90%
	2	国内交流促進事業活用団体数			100%	250%	250%
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	幅広い国内交流の動機づけとして、民間レベルの交流を促進していく必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	都市間交流は、交流人口の増加、経済交流を促進する動機づけとして有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	交流を盛んにすることにより、効率的な鳥取市のシティセールスにつながる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	適正な執行に努めている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	国内姉妹都市をはじめとして、関西圏や近隣都市、各県人会を核とする交流事業を展開し、一層の連携・交流を促進する。	